

こなん水辺公園ニュース

2013年7月号(通算第20号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

■美しいハナハス 撮影7月13日



7月に入り、梅雨の時期特有の蒸し暑い日が続いています。金沢の新盆に間に合われるかのようにハナハスが咲きました。美しいピンクの花たちの近くに行くと香水のような良い匂いがしてきます。今が盛りの花たちです。

今月初めに地元の新聞に載り、来園者の目を楽しませています。

6月にハムシでしょうか、小さな黒い虫が付き、成長に影響が出るのではないかと心配しましたが、例年通りの花数にホッとしています。あと一ヶ月以上は楽しめます。

黄色い葉っぱ

■ヒメガマ 7月11日



例年であれば濃い緑の長い葉を付けるヒメガマ。今年は芽吹きが無い部分が目立ちます。



こちら公園内のヒメガマです。例年ですとこのように育ちます。ヒメガマは公園の一部として大切な植物ですが、上手く育たない事も仕方ありません。根が残っていれば絶える事はありません。また、違う場所から種が飛んできて、定着するかも知れません。見守るだけです。

■タチヤナギ 7月11日



芝生広場の近くにあるタチヤナギです。ここにも黄色い葉っぱがありました。これは、カミキリムシが茎に入り込み、水が絶たれた事により、その先で枯れてしまいました。昆虫と植物は切っては生きていけない関係なのです。

■ヒシ 7月11日



大宮川のヒシです。水に浮いているのに枯れています。根の状態が良くないのでしょうか。

ヨシ舟をつかって乗ってみよう！

昨年、こなん水辺公園救援隊が園内で刈り取ったヨシ（アシ）を使って、人が乗れる大きさの舟をつくります。そして、水面に舟を浮かべて乗ってみます！

参加費無料！

日時：8月25日（日）9:00～17:30

場所：こなん水辺公園

定員：30名（先着順）

申込：①お名前

②年令

③FAX 番号または E-mail アドレス

を下記連絡先までお知らせください。



NPO 法人河北潟湖沼研究所

FAX 076-255-6941

メール info@kahokugata.sakura.ne.jp

締切：8月20日（火）

*中学生以下の方は、保護者同伴での参加をお願いします。

*締切前に定員に達した場合、そこで募集を締め切ります。

*荒天の場合は中止します。

*昼食やお茶は各自でご準備ください。

■田んぼの様子

7月11日



田んぼの様子です。5月に子供たちの手によって植えられたもち米が、梅雨の雨を吸収し、濃い緑に成長しました。一度草取りが入ったのでしょうか、アワやヒエは見られません。また、所々に虫に食べられた葉もありますが、気になる程ではありません。とても良い感じですよ。

隣りを流れる大宮川から水を引いているポンプも、7月の初めに新調され、今年は水路の水がなくなる心配もなさそうです。穂が出るのを待つばかりになりました。

水の中に目をやると、メダカが波紋を作ります。今年生まれた子供のメダカも2センチほどに育ち、数匹が群れを作って泳いでいます。

■松ぼっくり

7月11日



前回（5月号）に載せたクロマツの松ぼっくりです。緑色でかなり大きくなりました。

緑色の松ぼっくりは目立たないので、目にするのはあまり無いと思います。今年の初めの頃は、エビ茶色で2センチにも満たない大きさでした。気温が上がり、たっぷりの水分を受け取り、秋にはいつも目にする茶色の松ぼっくりになります。

ここにはありませんが、かほく市の森林公園にはとても大きな松ぼっくりがあります。夏休みの自由研究や工作に使う事もできます。暑い夏ですが、公園めぐりも楽しいかも知れませんね。

（文・写真 河合雄二）

発行 2013年7月20日

制作 こなん水辺公園解説員グループ（NPO 法人河北潟湖沼研究所内）

連絡先 〒929-0342 河北郡津幡町北中条ナ9-9 Tel.076-288-5803